

実は役立つ「損害保険」

～海外旅行保険インターネットプランを上手に活用するポイント～

ファイナンシャル・プランナー 三好明子

8月に入り夏本番といったムードが出てきましたね。今年は円高のメリットを享受しようと、夏休みは海外旅行なんて方も多いかもしれません。そんな中、慣れない海外では思わぬトラブルに巻き込まれるリスクも出てきます。ジェイアイ傷害火災保険の自社データによると、海外旅行の事故発生率は、2005年の2.4%から、2009年の3.03%へと増加し、30人に1人が何らかのトラブルに遭い保険を請求しているとのこと。

(ジェイアイ傷害火災保険 2009年度海外旅行保険事故データより)

そんな「もしもの時」の助けとなってくれるのが海外旅行保険です。加入には、保険代理店、旅行会社、空港などいくつかの窓口があります。現在は、大手損保会社でもインターネットから割安に加入出来るプランが用意され、窓口加入と比べて保険料が40%オフになることも。そこで今回は、比較的割安なインターネットプランを上手に活用するためのポイントをお伝えします。

Q. この夏休みは海外旅行を計画しています。インターネットで割安に入れる海外旅行保険があると聞いたのですが、どんなことに気を付けて選べばよいのでしょうか？

A. せっかくの円高でお得に海外に行くからには、海外旅行保険だってお得に入りたいと思いますよね。インターネットの場合、窓口での対応が無い分、保険料が割安になりやすいことはメリットですが、対面での相談が出来ないため、自分でプランを選ばなくてははいけません。保険を上手に活用するには、「リスク頻度の高いこと」、「経済的ダメージの大きいこと」に補償をつけることがポイントです。そのためには、海外旅行には「どんなリスク」が潜み、「どのくらいの頻度」で起きているのか、もしもの時の「経済的なダメージ」はどうなっているのかなど、前もって知っておきたいデータがあります。また、保険選びは保険料が安ければ良いというわけではなく、経済的な補償はもちろん、安心を手に入れるということも覚えておきましょう。

◇ 2011年夏の海外旅行人気ランキング

—コラムの無断転写・転載などを禁じます。—

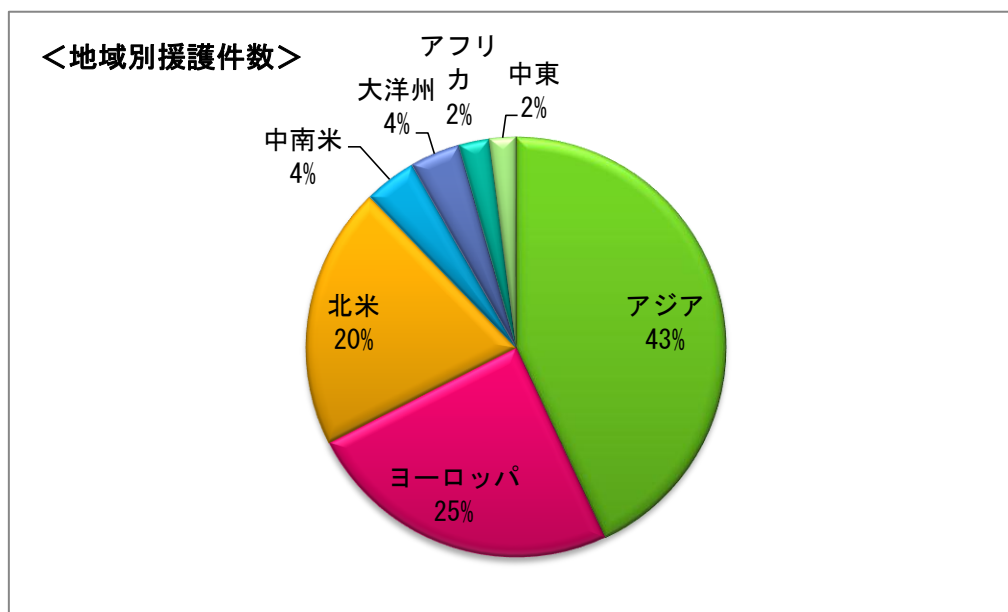
Copyright©2011 Skirr Japan Corporation. All Rights Reserved.

「2011 夏休みに行きたい!人気の海外旅行先ランキング」によると1位は韓国、2位がアメリカ、3位はイタリアとなっています。日本から2時間で行ける手軽さと、グルメやエステ、近年の韓流人気の影響もあるのかもしれませんね。

(情報提供：「地球の歩き方」)

◇ 地域別の援護状況

次に、海外での日本人援護者統計の地域別内訳を見てみると、全体の43%をアジアが占めています。欧州の25%や北米の20%と比べると、日本人にとって身近に感じやすいアジアですが、リスクも多くはらんでいるようです。



出典：外務省 「海外邦人援護統計」 (2010年) より筆者作成

◇ 高額事故ベスト3

一方で、高額事故例を見ると1位は北米、2位はヨーロッパ、3位はアジアとなっています。北米、ヨーロッパの医療事情には特に注意が必要です。

順位	国名	事故状況	支払保険金
1	ニュージーランド	吐き気・下痢を訴え受診。肝臓瘍・敗血症・腎不全と診断され30日入院・手術。家族が駆け付ける。医師・看護師が付き添い	2,042万円

—コラムの無断転写・転載などを禁じます。—

Copyright©2011 Skirr Japan Corporation. All Rights Reserved.

		医療搬送	
2	イタリア	バス乗車中に気分の悪さを訴え病院へ搬送。脳梗塞と診断され16日間入院。医師が付き添い搬送。	1,070万円
3	イタリア	自転車搭乗中に転倒。肋骨・鎖骨の骨折と診断され32日間入院。医師が付き添い医療搬送。	1,067万円

出典：ジェイアイ傷害火災保険 「2009年度海外旅行保険事故データ」より

◇ 各国の医療事情

海外旅行人気が高いアメリカとイタリアの医療事情を調べてみると、高額な医療費に注意が促されています。

➤ アメリカ

米国の医療費は非常に高額です。その中でも、ニューヨーク市マンハッタン区の医療費は同区外の2倍から3倍ともいわれており、一般の初診料は150ドルから300ドル、専門医を受診すると200ドルから500ドル、入院した場合は室料だけで1日数千ドルの請求を受けます。例えば、急性虫垂炎で入院し手術後腹膜炎を併発したケース(8日入院)は7万ドル、上腕骨骨折で入院手術(1日入院)は1万5千ドル、貧血による入院(2日入院、保存療法施行)で2万ドル、自然気胸のドレナージ処置(6日入院、手術無し)で8万ドルの請求が実際にされています。

➤ イタリア

海外旅行医療保険などに加入している外国人は、自由診療の私立病院あるいはクリニックを受診することが多くなります。私立病院は、大概英語が通じ医療環境も良好ですが、医療費は高額です。観光都市ローマには、近年、ツーリスト・メディカル・ガードが設置され、救急が受け付けられないような簡単な初期診療・処置、薬購入のための処方箋等を外国人旅行者にも施してくれるところが出来てきます。何れにせよ、概して高額な当国の医療費に備えて各種海外旅行保険への加入を強く勧めます。

(外務省 「在外公館医務官情報 2010年10月」より)

◇ 日本人のトラブル状況

—コラムの無断転写・転載などを禁じます。—

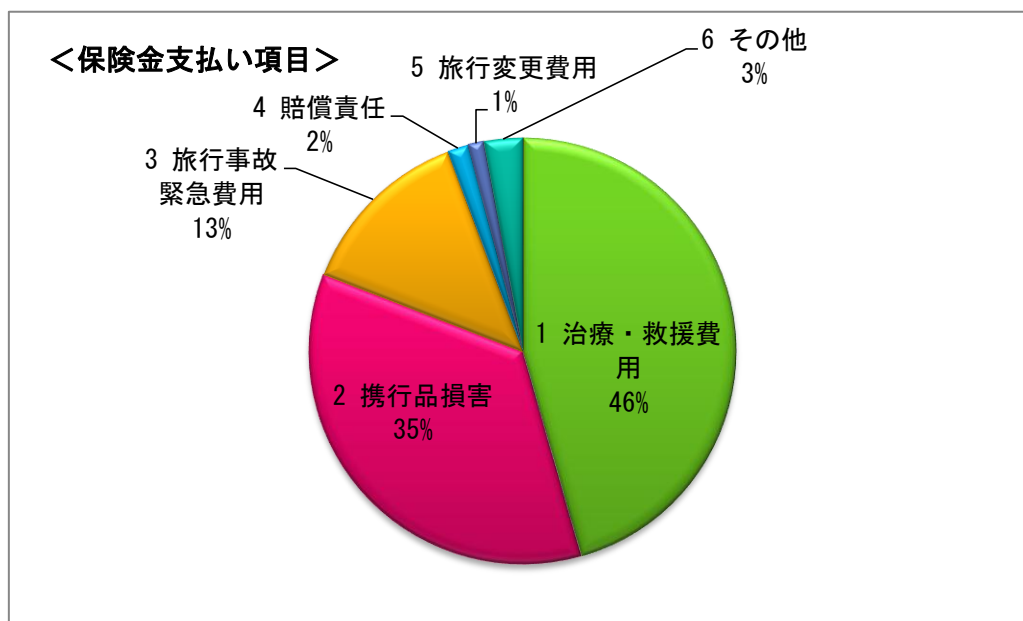
Copyright©2011 Skirr Japan Corporation. All Rights Reserved.

日本人が援護された事件別の内訳で一番多いのは「窃盗被害」(5,169件)。次いで「遺失(落し物)」(3,088件)、「病気・安否照会・交通事故」(1,461件)の件数が多く、これらで全体の45%を占めています。

(外務省 海外安全ホームページ 「2004年海外邦人援護統計」より)

◇ 海外旅行保険の保険金支払いランキング

実際に支払われた海外旅行保険の保険金ランキングを見ると、1位が「治療・救援費用」(45%)、2位が「携行品損害」(35%)となっています。外務省統計のトラブル事情とほぼ同じ項目が上位にきていますね。



出典：ジェイアイ傷害火災保険 2009年度海外旅行保険事故データより筆者作成

<まとめ>

これらのデータを見てみると、経済的なダメージが大きいのは、病気やケガによる「治療費」と、病気やケガを抱えた状態での現地からの移送や、飛行機事故などによる捜索などの「救援費用」と言うことが出来そうです。「治療・救援費用」を大きく持ちたい方には、[AIU 保険「インフィニティプラン」](#)のように無制限に出来る商品もあります。

—コラムの無断転写・転載などを禁じます。—

Copyright©2011 Skirr Japan Corporation. All Rights Reserved.

金額的にはそんなに大きくないかもしれませんが、頻度が高いのは、盗難や破損による「**携行品損害**」ですね。この補償は大抵の商品に付けられますので、お守り代わりに付けておいても良いでしょう。

そして、気をつけたいのは、他人にケガをさせたり、お店の物を壊したりと他人に損害を与えてしまうトラブル。こちらは、損害額がいくらになるのか予想しにくいことから、ぜひとも保険を活用したいところ。「**賠償責任補償**」なら手軽な保険料で大きな補償を持てますので、付けておくと安心です。この補償は自動車保険や火災保険などにもつけることができ、1つの契約で一緒に生活をする親族と別居の未婚の子どもまで補償されます。すでにご加入の保険に付いていないか確認してみましょう。

また、徹底的に無駄を省くなら、お手持ちのクレジットカードについている補償内容を確認してダブリのないプランを選びたいですね。その際は、損保ジャパン「[新・海外旅行保険【off】（自由設計）](#)」のようにフリープランで選べる商品もあります。

さらに、よく海外旅行をされる方は、[三井住友海上「ネットde保険@とらべる」](#)のようにリピーター割引がついた商品も選択肢に入れたいところです。

「**死亡補償**」についてはインターネットで選ぶ場合、3000万円が上限となることが多いので、しっかりとつけたい場合には、代理店などから入ることも検討してくださいね。

普段はあまり馴染みのない損害保険かもしれませんが、上手に活用して安心して楽しい海外旅行をお過ごしください。